

## 決議 No.51-15

### 宇宙空間での武器の設置を永久に禁止する、宇宙空間保全法及び宇宙空間保全条約を支持するカリフォルニア州リッチモンド市の議会決議

— その軌道上にある物体や、或いはその軌道上から物体や人を破壊し危害を加える武器の使用，及び宇宙空間における全ての武器の設置を永久に禁止する。また、宇宙空間における全ての武器の研究開発、試験、製造、生産及び配備を永久に終結させる、宇宙空間保全法及び必携の宇宙空間保全条約をここに成立する。

— 宇宙空間保全法及びアメリカ下院議員、Dennis Kucinich（D-Ohio 州）により提出された宇宙空間保全条約により、アメリカ大統領に対し引き続き、宇宙空間での武器設置とその軌道上にある物体や軌道から物体や人を破壊し危害を加える武器の使用の禁止を強く要求していくこととする。

— 宇宙空間保全条約により、宇宙空間平和維持局（課）が設立された。目的は宇宙空間の監視と宇宙空間における武器の設置の永久禁止を強化することである。更にこの法律は、宇宙空間保全法により禁止されるべき武器から攻撃・暴行を受けていると主張している **Targeted Individual**（標的にされた個人）を保護する役割を果たす。

— 全ての住民の幸せこそ、リッチモンド市の最重要な課題である。

それ故、以下のことを決議します。

リッチモンド市議会は、ここに宇宙空間保全法及び必携の宇宙空間保全条約を、個人が宇宙からの武器によってターゲットにならないように保障するために支持する。

前述の決議は2015年5月19日市議会の定例会議で次のような投票で採択されましたことを証明致します。

賛成：(5名)

Bates

Beckles

Martinez

McLaughlin

Myrick (副市長)

反対：(2名)

Pimple

Butt (市長)

Pamela Christian

リッチモンド市事務職員

承認：Tom Butt  
市長

承認(適正)：Bruce Goodmiller  
市弁護士

California 州  
Contra Costa 群  
Richmond 市

私はここに前述の決議 No. 51-15 は最終的に通過し、2015年5月19日に開かれた定例議会によって市議会議員によって採択された本物のコピーであることを証明致します。

Pamela Christian

リッチモンド市事務職員

